

令和元年度 学校評価に関わるアンケート集計結果

令和2年 1月31日
宮城県中新田高等学校

1 アンケート調査期日と回収率

対象者	実施日	回収率
生徒	12月9日(月) 15:40～	97% (323/333人中)
保護者	11月25日(月)～12月9日(月)	93% (310/332人中)
教職員	11月25日(月)～12月9日(月)	100% (30/30人中)

2 結果詳細

- <資料1>令和元年度 三者(生徒・保護者・教職員)比較グラフ
- <資料2>令和元年度 学校評価に関わるアンケート集計
- <資料3>令和元年度 「重要度」「実現度」「ニーズ度」比較
- <資料4>令和元年度 学校評価報告書
- <資料5>令和元年度 アンケート自由記述

3 共通項目 結果一覧 (実現度)

(数字は肯定的評価の値 単位%)

	項目	生徒		保護者		教職員	
		H30	R1	H30	R1	H30	R1
1	進路に応じた教育課程編成	84	83	85	84	80	77
2	意欲を引き出す授業	70	67	72	74	73	73
3	家庭学習の定着	35	28	40	43	36	40
4	充実した朝読書の推進	79	88	64	66	76	87
5	生活指導の方針明確	76	73	72	79	76	80
6	基本的生活習慣の指導	77	82	76	81	79	77
7	進路目標の明確化	80	81	73	80	67	80
8	進路情報の提供	80	81	72	73	79	87
9	進路ノートの活用	64	64	65	69	48	53
10	教育相談体制	77	73	63	71	88	100
11	部活動が活発	77	82	73	78	70	77
12	部活動の休養日設定	75	71	77	81	72	73
13	生徒会活動が活発	73	72	78	85	70	70
14	有意義な学校行事	68	69	78	81	76	83
15	特色ある学校づくり	77	73	73	80	79	80
16	災害時の避難・連絡	84	87	73	80	91	97
17	学校の情報提供	79	86	75	86	97	100
18	校舎等の施設設備	81	82	63	65	36	57
19	清掃等学習しやすい環境	71	67	67	67	82	70
20	いじめの早期発見	78	83	77	88	76	93
21	PTA・学校行事の連絡	69	67	67	73	73	90
22	学校生活の充実度	72	67	79	85		
	平均	73.9	73.9	71.0	75.9	72.6	78.3

4 共通項目概況

今年度の学校評価に関するアンケートは、宮城県教育委員会から指定されている評価項目(18項目)を本校の教育方針に照らし合わせて検討し、昨年度と同様に22項目について実施した。具体的項目での昨年度と今年度の経年比較を実施した。

(1) 生徒アンケート

肯定的評価の平均は73.9%(前年比±0)となり、前年度と変わりは無かったものの、肯定的評価が70%以上の項目は、22項目中15項目(前年比+3)であった。

中でも「進路に応じた教育課程の編成」、「充実した朝読書の推進」、「基本的生活習慣の指導」、「進路目標の明確化」、「進路情報の提供」、「部活動が活発」、「災害時の避難・連絡」、「学校の情報提供」、「校舎等の施設設備」、「いじめの早期発見」の10項目(前年比+5)で肯定的評価80%を超えている。また、肯定的評価が65%未満は「家庭学習の定着」(前年比-7)と「進路ノートの活用」(前年比±0)の2項目である。

なお、前年度と比べて大きく変動した項目は、「充実した朝読書の推進」(前年比+7)、「学校の情報提供」(前年比+7)、「家庭学習の定着」(前年比-7)であった。

(2) 保護者アンケート

肯定的評価の平均は76.0%(前年比+5)と大きく数値が上がった。その中で肯定的評価が70%以上の項目は17項目(前年比+2)となった。80%を超えた項目は「進路に応じた教育課程の編成」、「基本的生活習慣の指導」、「進路目標の明確化」、「部活動の休養日設定」、「生徒会活動が活発」、「有意義な学校行事」、「特色ある学校づくり」、「災害時の避難・連絡」、「学校の情報提供」、「いじめの早期発見」、「学校生活の充実度」の11項目であった。また、肯定的評価が65%未満は1項目であり、「家庭学習の定着」の評価が43%(前年比+3)と生徒アンケートと同様に低い評価となっている。「学校の情報提供」、「いじめの早期発見」については前年比を11ポイント上がった。

(3) 教職員アンケート

肯定的評価の平均は78.3%(前年比+5.7)であった。肯定的評価が70%以上の項目は、21項目中18項目(前年比+1)であった。その中でも「充実した朝読書の推進」、「進路情報の提供」、「教育相談体制」、「災害時の避難・連絡」、「学校の情報提供」、「いじめの早期発見」、「PTA・学校行事の連絡」の7項目が85%を超えた。

また、肯定的評価が70%未満の項目は、3項目(前年比-1)であり、「家庭学習の定着」、「進路ノートの活用」、「校舎等の施設設備」である。

5 ニーズ度算出からのまとめ

(1) アンケートの実施について

今年度のアンケートも、昨年同様にそれぞれの項目に対して実現度だけでなく重要度も回答してもらった。重要度と実現度に関してはアンケート結果に対して次のような点数化を行い、各項目の「重要度」「実現度」「ニーズ度」を算出した。

重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	7	5	3	1

点数の和 ÷ 有効回答数 = 重要度

実現度	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
点数	7	5	3	1

点数の和 ÷ 有効回答数 = 実現度 重要度 × (8 - 実現度) = ニーズ度

「ニーズ度」は、重要度が高くて実現度が低いと高くなる。「ニーズ度」が高い項目は、**学校の課題と見なすことが出来る。**

(2) 「生徒」「保護者」「教職員」アンケートの三者比較概要

※()内は30年度の値

	重要度平均値	実現度平均値	ニーズ度平均値
生徒	6.07 (5.48)	4.71 (4.66)	19.90 (18.29)
保護者	6.07 (5.64)	4.81 (4.50)	19.34 (19.70)
教職員	6.07 (5.96)	4.96 (5.35)	18.36 (18.24)

上記の表から、今年度のアンケート結果を見ると、生徒と保護者・教職員による重要度平均値が同数値であるのに対して、実現度平均値は教職員・保護者・生徒の順である。つまり、ニーズ度が三者の中で最も高いのは生徒であり、保護者・教職員の順となった。今回のアンケート結果から、三者のニーズ度の数値の高い項目から課題の割り出しを試みた。

(3) 「ニーズ度」から見た注意すべき項目(上位7項目)

		ニーズ度			
<生徒>	質問項目	重要度	実現度	H30年度	R1年度
3	私は、毎日、予習・復習等の家庭学習に取り組んでいる。	5.45	2.98	23.57	27.40
21	学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	6.43	4.31	20.90	23.72
2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	6.23	4.37	19.63	22.63
22	私は中新田高校に入学してよかった。(学校生活は充実している。)	6.15	4.39	18.87	22.23
19	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されている。	6.23	4.46	20.32	22.06
12	部活動の休養日は、生徒・顧問の負担軽減のために適切に設定されている。	6.33	4.56	18.17	21.74
14	有意義な学校行事がある。	6.23	4.56	21.13	21.43
全平均		6.15	4.23	20.37	23.03

		ニーズ度			
<保護者>	質問項目	重要度	実現度	H30年度	R1年度
3	お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいる。	6.01	3.78	25.43	25.34
21	学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	6.50	4.60	22.50	22.08
19	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されている。	6.01	4.42	21.67	21.55
2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	6.38	4.63	20.62	21.49
8	進路希望に応じて、必要な進路情報の提供は適切に行われている。	6.46	4.74	20.11	21.07
10	教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	6.19	4.64	21.00	20.78
9	「進路ノート」を活用しLHRや総合の時間を使って効果的な進路指導が行われている。	6.02	4.59	20.56	20.50
全平均		6.23	4.49	21.70	21.83

		ニーズ度			
<教職員>	質問項目	重要度	実現度	H30年度	R1年度
3	宿題指導の徹底などにより、家庭学習は定着している。	5.60	3.73	24.63	23.89
2	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	6.47	4.53	21.12	22.42
19	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されている。	6.53	4.60	18.45	22.21
6	挨拶やマナーなどの基本手生活習慣の確立に関する指導が行われている。	6.60	4.67	18.41	22.00
9	「進路ノート」を活用しLHRや総合の時間を使って効果的な進路指導が行われている。	5.40	4.07	21.20	21.24
1	本校では、生徒の進路希望に応じた教育課程が編成されている。	6.53	4.93	20.39	20.04
7	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	6.33	4.87	21.88	19.84
全平均		6.21	4.49	20.87	21.66

・「家庭学習の定着」は、5年連続して三者ともニーズ度が高い項目であった。学習の必要性や大切さは感じているものの、家庭学習は「定着していない」または「定着している様子がうかがえない」状況である。生徒のニーズ度が前年より高くなっていることに対して、保護者・教職員のニーズ度は下がっている。生徒の意識を高める手立てを講じ、保護者の協力をお願いしながら、教職員は計画的・意図的な課題の与え方を工夫していく必要がある。

・「学ぶ意欲を引き出す授業」も、三者とも高い値となっている。授業づくりは教職員にとって最も重要なことであるとの意識は高いが、実現度が低い数値となっている。学ぶ意欲を引き出すために、「主体的で対話的な深い学び」を校内の研究テーマとして取り組んできたことを十分に振り返り、検証する必要がある。また、ICTの活用により個々の生徒が興味を示し、目的意識を持って学習に取り組むよう工夫して授業を展開している。このことについても十分に検証を行う必要がある。

・「校舎やグラウンドなどの施設や設備」についても、三者とも高い値となっている。昨年度までもエアコンの設置を望む声を多くいただいており、学校管理職は機会を捉えて県教委に要望してきている。しかし、1教室の設置に数百万円の予算が必要となるため、全教室に設置することは困難な状況にある。また、今年度は、台風19号の影響でグラウンドが使用できない状

況が続いたため、早期の整備を望む声が多かった。グラウンド整備については、春までに段階的に整備を進めていく予定である。

・「**進路ノートの活用**」については、保護者・教職員の両方で数値が高くなっている。進路ノートを活用し、効果的に進路指導ができることを目的としている。生徒の数値がそれほど高くないのは、2年生後半から進路を意識した生徒を中心に LHR や総合的な学習(探究)の時間等様々な場面で活用されているためだと考えられる。進路ノートの内容について十分に検討を加え、発達段階に沿う内容に工夫していく必要がある。

・「**いじめの早期発見**」については、生徒・保護者の両方で数値が高くなっており、生徒を安心して学校生活を過ごさせるためには欠かせない必要性の高い項目である。今年度も、いじめに関するアンケートを毎月実施し、その内容をもとにいじめが解決した事例もある。また、職員も日々の教育活動の中で生徒を注意深く観察し、いじめの早期発見・防止に取り組んでいる。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用している生徒や保護者も増えており、早期段階で相談することで解決を図っている事例も増えてきている。実現度は少しずつ向上しているが、生徒・保護者のニーズ度が高いことを教職員は十分に意識し、いじめ防止と早期発見を心がけながら普段の教育活動に取り組まなければならない。

・「**学校生活の充実**」については、今回、生徒の数値が高くなっている。これまで、本項目が上位に位置することは希であった。「有意義な学校行事」についても、生徒の数値が高くなっており、学校生活の中で充実感や肯定感、有用感などが得られるような仕掛けが必要であると考える。

6 考察

今年度の学校評価に関わるアンケート結果について共通項目結果一覧及びニーズ度算出結果より、本校が問題意識を持って取り組むべき課題は、次の点に集約されると考える。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1) 生徒自身の「やる気」を喚起する仕掛けと工夫2) 学ぶ意欲が持続する授業づくりと家庭学習が習慣化する課題の提示の工夫3) 校地内の環境整備と管理を徹底し、安全・安心に生活できる学校づくり4) 「進路ノート」の内容検討と効果的な活用方法の工夫5) 生徒の変容を早期に発見するための積極的生徒指導の充実 |
|---|

7 自由述より

生徒からは、「授業の質やわかりやすさについて」、「部活動の部員数と活動実績について」など、よりよい学校づくりに向けた建設的な意見が多く見られた。

保護者からは、「教師の指導の仕方について」、「学校行事の内容や企画について」、「部活動について」、「進路指導について」など大変貴重なご意見をいただいた。

「学校からの情報発信について」は、一斉メールや学校ホームページ等を活用して情報提供を実施してきた。今回の意見をいただき、学校だより以外にも学年だよりや進路だより等、学校から配付しているたより等についてはホームページにも掲載する予定である。